

## 「SBI ネオメディアサミット 2026」における「地方創生セッション」 当社代表取締役 村上範義の登壇に関するお知らせ

株式会社 W TOKYO（本社：東京都渋谷区、代表取締役：村上範義、コード番号：9159、東証グロース、以下「当社」）代表取締役の村上範義は、2026年5月19日(火)に The Okura Tokyo プレステージタワー 平安の間にて開催された、SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長（CEO）北尾吉孝、以下「SBIホールディングス」）主催の「SBI ネオメディアサミット 2026」に出席し、第二部の「地方創生セッション」に登壇いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### ■「SBI ネオメディアサミット 2026」の概要

「SBI ネオメディアサミット 2026」は、報道陣が参加する第一部と、政治家・金融機関・ネオメディア生態系グループ企業の代表等が集まる第二部の構成で行われました。

第一部では、主に報道陣に向けて、北尾吉孝代表取締役会長兼社長と SBI ネオメディアホールディングスの深澤裕代表取締役社長が登壇し、「SBI ネオメディア生態系の戦略構想～SBI グループが目指す感情経済圏の構築～」と題した基調講演を行いました。

第二部では、コンテンツの一部としてトークセッションが設けられ、当社代表の村上範義は、チェンジホールディングス代表取締役兼執行役員社長 福留大士様のモデレートのもと、七十七銀行 取締役頭取 小林英文様と、地方創生をテーマとするセッションを行いました。

（写真：第一部の北尾吉孝代表取締役会長兼社長による講演で、当社とのコラボレーションの実例が述べられた場面）



### ■トークセッションテーマ：IP を世界に／関係人口創出に向けたイベントのファン経済圏の活用

- ・株式会社チェンジホールディングス  
代表取締役兼執行役員社長 福留大士 様（モデレーター）
- ・株式会社七十七銀行 取締役頭取 小林英文 様
- ・株式会社 W TOKYO 代表取締役 村上範義



### ■「地方創生セッション」の要旨

#### 1. 地方創生における「関係人口」の定義とビジネスチャンス

福留氏より、昨今、国策の中でもよく聞かれるようになった「関係人口」という概念について、地方創生においてこの言葉をどのように解釈し、どのような意味を持つか、小林氏及び村上へ考えを問われました。村上からは、東京ガールズコレクションの現在地や地方での開催実績の説明を踏まえて、関係人口とは「その街の未来に対して感情（愛着や熱意）を持ってくれている人」と捉えており、TGCを通じて多くの方がフォロワーへ魅力を伝えていくことで、「自分もこの街に関わりたい」「一緒にこの取り組みを行いたい」という声広がっていることで関係人口を広げている事例となっていると述べました。

#### 2. 七十七銀行×W TOKYO：地域を巻き込むエンパワー活動

小林氏より、2023年に当社と締結した連携協定について触れ、この具体的施策として2024年に当社が実施した『EMPOWER MIYAGI 2024 powered by TGC』の取組みについて、関係人口を増やしていく面白い取組みとなった、今後も当社と新たな企画を考えていきたいと述べられました。なお、『EMPOWER MIYAGI 2024 powered by TGC』は地方創生に資する金融機関等の特徴的な事例として、全国約860件の事例から選出され、内閣府特命担当大臣（地方創生等担当）から表彰を受けました（参考：<https://w-tokyo.co.jp/news/1112/>）。

### 3. 地方×IP・コンテンツの可能性

福留氏より、第一部でSBIホールディングス北尾会長から2026年8月に『SBI証券 presents TGC 松山 2026』が開催される旨が説明されたことに触れ、「地方×IP」「地方×コンテンツ」という掛け算が生み出すビジネスチャンスをどのように捉えているか村上へ考えを問われました。村上からは、日本の地方には、とてつもない財産がたくさん眠っており、中には世界に通用するものも数多くある一方、単に良い自然や産物、特産品があるだけで勝手に広がっていく時代ではないため、「誰がどのような熱量を持って、その商品やサービスを『物語（ストーリー）化』していくか」が重要であると述べました。よって、ここにエンタテインメントやIPを掛け合わせる価値があるため、地方の資源をエンタテインメント化することで、世界共通の価値観にアジャストさせることができ、より広く届けやすくなると考えていると述べました。

### 4. SBI ネオメディア生態系との今後の連携の展望

村上より、SBI ネオメディア生態系との今後の連携・事業展開について、TGCをハブにしながら、第一部で北尾会長がおっしゃっていた「感情」や「熱狂」といったエネルギーと「資本」が循環するような経済圏を創っていきたいとの考えを示しました。これまでの地方創生プロジェクトにおけるTGCの価値は、直接的な経済効果や間接的なPR効果で測られてきましたが、今後は、SNSやメディアで広がった熱狂的なエネルギーを、具体的なデジタル経済や国全体の経済活動へと還流させるような仕組みづくりを、SBIグループの皆様と一緒に模索し、努力していきたいと考えているとの言葉で締めくくりました。

### **■SBI ネオメディア・サミット 2026 ～SBIグループが目指す感情経済圏の構築～**

SBIチャンネルにおいて、公式動画が公開されています。ぜひご覧ください。

[https://youtu.be/HTmX\\_uwwqDc?si=IP32yrMuqnTJv1cc](https://youtu.be/HTmX_uwwqDc?si=IP32yrMuqnTJv1cc)

以上